

数 学

1 次の 内にあてはまる数, 式, 記号を答えなさい。

(1) $(\sqrt{6} - \sqrt{2})^2 - \frac{\sqrt{48} - 6}{\sqrt{12}}$ を計算すると である。

(2) $(x+3)^2 + (x+2)(x+1) - (x+3)$ を因数分解すると である。

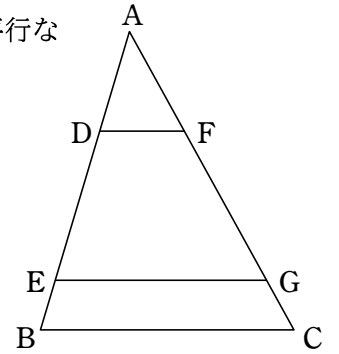
(3) $99^2 + 99 \times 101$ を計算すると である。

(4) 大小2つのさいころを同時に投げるとき, 出た目の数の和が5以上になるのは 通りである。

(5) 1個200円のいちご大福を今日は昨日より3割値引きして売ったところ, 昨日よりも100個多く売れ, 売り上げ金額は昨日より6800円多かった。昨日売れたいちご大福の個数は 個である。

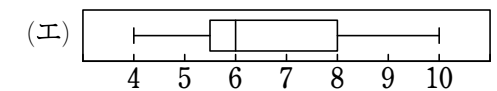
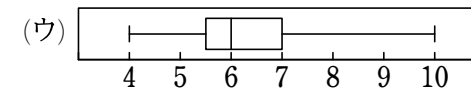
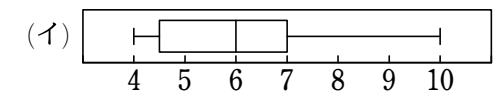
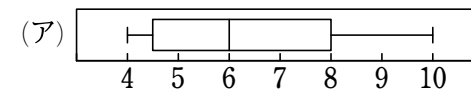
(6) 図の△ABCにおいて, 辺AB上にAD:DE:EB=2:3:1となるように2点D, Eをとる。点D, 点Eから辺BCに平行な直線をひき, 辺ACとの交点をそれぞれF, Gとする。

このとき, 台形EBCGの面積は△ADFの面積の 倍である。

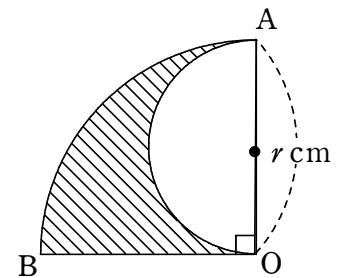


(7) 次の表は, あるクラスの生徒12人の10点満点の小テストの結果をまとめたものである。この12人のデータの箱ひげ図として正しいものを, 下の(ア)~(エ)から選ぶと である。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
得点(点)	4	9	6	7	6	7	4	6	4	7	10	5



(8) 図のように, 点Oを中心とする半径r cm, 中心角90°のおうぎ形OABから, OAを直径とする半円を取り除いた図形(斜線部分)を, 直線OAを回転の軸として1回転させてできる回転体の体積は cm³ である。



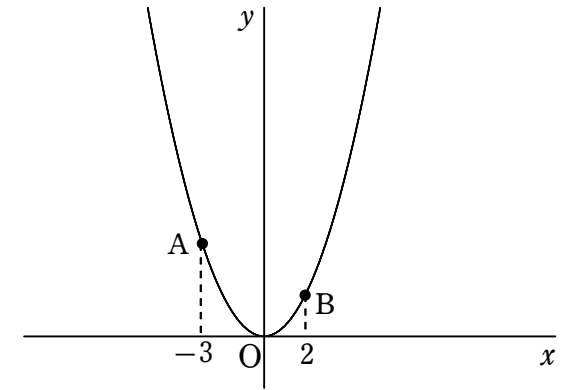
2 ある水槽には、1つの給水管と3つの排水管が付いている。3つすべての排水管を閉じて1つの給水管から毎分 x l の水を注ぐと、空の状態から24分で水槽が満水になる。また、給水管を閉じて1つの排水管から毎分 y l の水を抜くと、満水の状態から16分で水がすべて抜ける。次の問いに答えなさい。ただし、3つの排水管はすべて同じで、どの排水管も毎分 y l の割合で水が抜けるものとする。

(1) この水槽の容積を y を用いて表しなさい。

(2) 水槽の水を満水の状態から50 l 減らした。その後、1つの給水管から水を注ぎ、3つすべての排水管から水を抜くことを同時に行った。すると2分後に満水の状態と比べ水の量が半分になった。このとき x と y の値をそれぞれ求めなさい。ただし、考えた過程を書きなさい。

3 関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に2点 A, B があり、A, B の x 座標がそれぞれ $-3, 2$ である。次の問いに答えなさい。

(1) 点 A を通り、直線 OB に平行な直線の式を求めなさい。

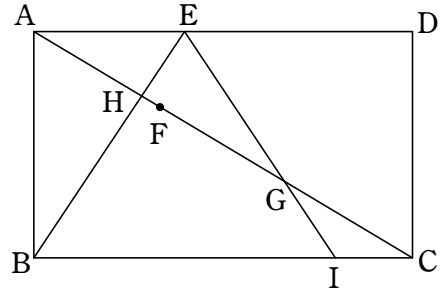


(2) (1) で求めた直線と関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフとの交点のうち、点 A と異なる点を C とする。△OBC の面積を求めなさい。

(3) (2) のとき、原点 O を通り、四角形 OBCA の面積を2等分する直線の式を求めなさい。

4 図のように長方形 ABCD があり、辺 AD 上に $AE : ED = 2 : 3$ となるように点 E をとる。また、対角線 AC を 3 等分した点のうち A に近い方から点 F, G とし、AC と線分 BE との交点を H とする。また、直線 EG と辺 BC との交点を I とする。次の問いに答えなさい。

(1) $AH : HC$ および $EG : GI$ を最も簡単な整数の比でそれぞれ表しなさい。

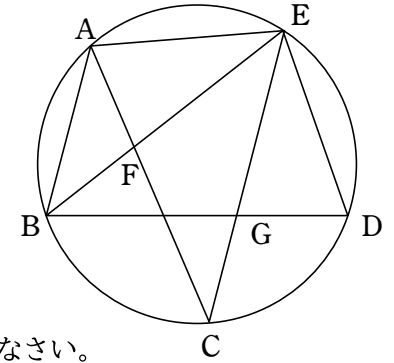


(2) $AH : HF$ および $\triangle AEH$ と $\triangle EFG$ の面積比を最も簡単な整数の比でそれぞれ表しなさい。

(3) $\triangle BCH$ の面積を S とするとき、 $\triangle EFI$ の面積を S を用いて表しなさい。

5 図のように、円周上に 5 点 A, B, C, D, E があり、 $\angle AEB = \angle DEC$, $AE = DE$ とする。また、線分 AC と線分 BE の交点を F, 線分 BD と線分 CE の交点を G とする。 $AB = EF = 5 \text{ cm}$, $BF = 3 \text{ cm}$ となるとき、次の問いに答えなさい。

(1) $\triangle ABF \sim \triangle EBG$ を証明しなさい。また、線分 BG の長さを求めなさい。



(2) $\angle EBC = a^\circ$ とするとき、 $\angle BEC$ を a を用いて表しなさい。

(3) 線分 DG の長さを求めなさい。

数学 解答用紙

1

(1)		(2)	
(3)		(4)	通り
(5)	個	(6)	倍
(7)		(8)	cm ³

2

(1)	
(2)	$x = \quad , y = \quad$

(解答用紙は裏面に続く)

受験番号	
------	--

3

(1)		(2)	
(3)			

4

(1)	$AH : HC = \quad : \quad$	$EG : GI = \quad : \quad$
(2)	$AH : HF = \quad :$	
	$(\triangle AEH \text{ の面積}) : (\triangle EFG \text{ の面積}) = \quad :$	
(3)		

5

(1)	証明 $\triangle ABF$ と $\triangle EBG$ について	
		終
		$BG = \quad \text{cm}$
(2)	$\angle BEC =$	
(3)	$DG = \quad \text{cm}$	

数学 解答用紙

1

(1)	$6 - 3\sqrt{3}$	(2)	$2(x+2)^2$
(3)	19800	(4)	30 通り
(5)	120 個	(6)	$\frac{11}{4}$ 倍
(7)	(イ)	(8)	$\frac{1}{2}\pi r^3$ cm^3

(1)~(2) 各 4 点 (3)~(8) 各 5 点 [38点]

2

(1)	$16y$
(2)	$(16y - 50) + (x - 3y) \times 2 = 16y \times \frac{1}{2}$ $16y - 50 + 2x - 6y = 8y$ $2x + 2y = 50$ $x + y = 25 \dots\dots \textcircled{1}$ また, $24x = 16y \dots\dots \textcircled{2}$ $\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より $x = 10, y = 15$ $x = 10, y = 15$

(1) 5 点 (2) 7 点 [12点]

(解答用紙は裏面に続く)

受験番号	
------	--

3	(1)	$y = x + \frac{15}{2}$	(2)	$\frac{15}{2}$
	(3)	$y = \frac{19}{4}x$		

(1) 5点 (2) 5点 (3) 5点 [15点]

4	(1)	AH : HC = 2 : 5	EG : GI = 2 : 1
	(2)	AH : HF = 6 : 1	
		(△AEH の面積) : (△EFG の面積) = 6 : 7	
	(3)	$\frac{7}{25}S$	

(1) 6点 (2) 6点 (3) 5点 [17点]

5	<p>証明 △ABF と △EBG について</p> <p> \widehat{BC} に対する円周角は等しいので $\angle BAF = \angle BEG \dots\dots ①$ $AE = DE$ より $\widehat{AE} = \widehat{DE}$ 同じ弧に対する円周角は等しいので $\angle ABF = \angle EBG \dots\dots ②$ ①, ②から 2組の角がそれぞれ等しいので $\triangle ABF \sim \triangle EBG$ </p> <p style="text-align: right;">終</p>		
		BG =	$\frac{24}{5}$ cm
	(2)	$\angle BEC = 180^\circ - 2a^\circ$	
	(3)	DG =	$\frac{25}{8}$ cm

(1) 8点 (2) 5点 (3) 5点 [18点]

数 学

1 次の にあてはまる数, 式, 記号を答えなさい。

(1) $-3^2 + 12 \div \left(-\frac{2}{3}\right)^2$ を計算すると である。

(2) $\sqrt{2}(\sqrt{54} - \sqrt{3}) - \frac{12}{\sqrt{3}}$ を計算すると である。

(3) $4ax^2 - ay^2$ を因数分解すると である。

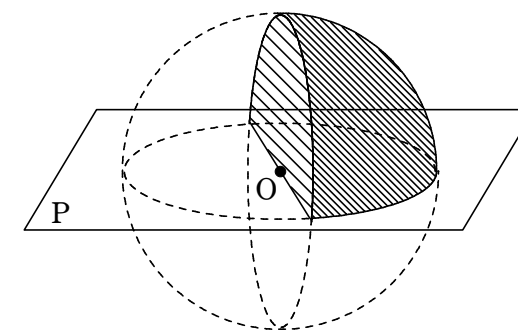
(4) 2次方程式 $3x(x-3) = (x-1)(x-4)$ を解くと, $x =$ である。

(5) 関数 $y = ax^2$ について, x の値が 1 から 4 まで増加するときの変化の割合が -6 であった。このとき, a の値は である。

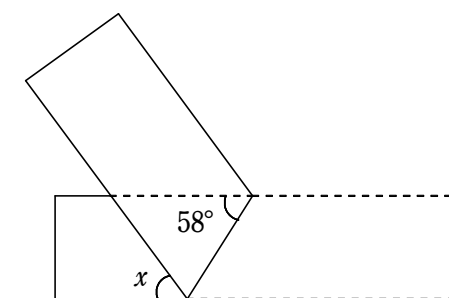
(6) $\sqrt{\frac{504}{n}}$ が整数になるような自然数 n のうち, 最も小さい数 n は である。

(7) 大小 2 つのさいころを同時に投げるとき, 出た目の積が奇数となる確率は である。ただし, さいころはどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

(8) 右の図のように, 半径 2 cm の球を, 中心 O を通る平面 P で切った半球がある。この半球を, さらに, O を通り平面 P に垂直な平面で切り取ってできた立体の表面積は cm^2 である。



(9) 右の図は, 長方形を折り曲げたものである。 $\angle x$ の大きさは $^\circ$ である。



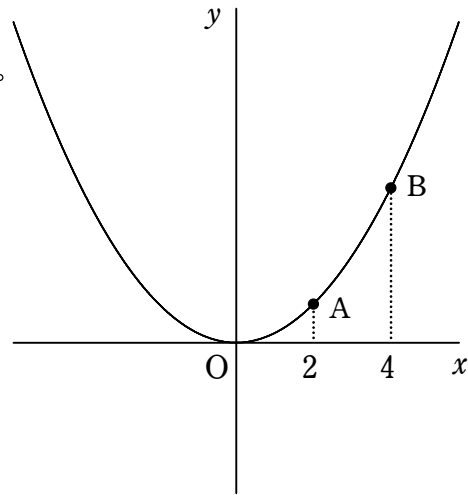
(10) 5 人の生徒 A, B, C, D, E が, 1 年間に読んだ本の冊数を下の表に記入したが, 5 人のうち 1 人が冊数を誤って記入していることが分かった。誤って記入していた冊数を実際に読んだ本の冊数に訂正したところ, 中央値は 8 冊, 平均値は 7 冊であった。

生徒	A	B	C	D	E
読んだ本(冊)	8	2	4	12	6

冊数を誤って記入した生徒は で, その生徒が実際に読んだ本は 冊である。

4 図のように、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に2点 A, B があり、その x 座標はそれぞれ 2, 4 である。次の問いに答えなさい。

(1) 直線 AB の式を求めなさい。また、点 A と y 軸に関して対称な点 C の座標を求めなさい。

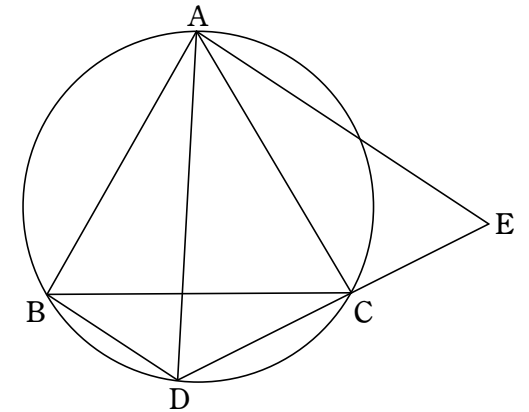


(2) y 軸上に点 P をとり、線分 AP と線分 BP の長さの和 $AP + BP$ を考える。 $AP + BP$ が最小となる点 P の座標を求めなさい。

(3) (2) のとき、 $\triangle ABP$ を y 軸を軸として、1 回転させてできる立体の体積を求めなさい。ただし、1 目盛りを 1 cm とする。

5 図のような円があり、異なる3点 A, B, C は円周上の点で、 $\triangle ABC$ は正三角形である。点 A を含まない \widehat{BC} 上に点 D をとり、線分 DC の延長上に $BD = CE$ となる点 E をとる。AB = 14 cm, BD = 6 cm, CD = 10 cm のとき、次の問いに答えなさい。

- (1) $\angle DAC = a^\circ$ とする。
 - (ア) $\angle ABD$ の大きさを a を用いて表しなさい。
 - (イ) $\triangle ABD \cong \triangle ACE$ を証明しなさい。



(2) $\triangle ABC$ の面積を S とするとき、 $\triangle ADE$ の面積を S を用いて表しなさい。

(3) 線分 AD と BC との交点を F とするとき、 $AF : FD$ を最も簡単な整数の比で表しなさい。

1	(1)		(2)	
	(3)		(4)	$x =$
	(5)	$a =$	(6)	$n =$
	(7)		(8)	cm^2
	(9)	°		
	(10)	冊		□

2	(1)	cm
	(2)	$AH : HC = \quad :$
	(3)	cm^2

3	(1)	g
	(2)	$\left\{ \begin{array}{l} \text{(1)の答え} = 0.04 \times \square \\ \square \end{array} \right.$
	(3)	$x = \quad , y =$

4	(1)	$y =$	C (,)
	(2)	P (,)
	(3)	cm^3		

5	(ア)	
	(1)	(イ)
		<p>(証明) $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において 仮定より $BD = CE$ ……① $\triangle ABC$ が正三角形だから $\angle ABC = 60^\circ$, $\square = \square$ ……② $\angle ABD =$ (ア) の答え ……③</p> <p>\widehat{AC} に対する円周角は等しいから $\angle ADC = \angle \square$ $\angle ACE$ は $\triangle ACD$ の頂点 C における外角なので $\angle ACE = \angle ADC + \angle DAC = \square^\circ + a^\circ$ ……④ ③と④より $\angle ABD = \angle ACE$ ……⑤ ①, ②, ⑤より (合同条件) \square がそれぞれ等しい から $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ (証明終わり)</p>
	(2)	□
	(3)	$AF : FD = \quad :$

受験番号	□
------	---

□

1	(1) 18	(2) $2\sqrt{3} - \sqrt{6}$	
	(3) $a(2x+y)(2x-y)$	(4) $x = 1 \pm \sqrt{3}$	
	(5) $a = -\frac{6}{5}$	(6) $n = 14$	
	(7) $\frac{1}{4}$	(8) $8\pi \text{ cm}^2$	
	(9) 64 °	各4点 [40点]	
	(10) E	9 冊	

2	(1) 6 cm	
	(2) AH : HC = 4 : 1	
	(3) $\frac{81}{5} \text{ cm}^2$	各5点 [15点]

3	(1) $x + y$ g	
	(2) (1)の答え = 0.04×300	各5点 [15点]
	$\frac{4x + 2y + 25}{625} = 0.104$	
	(3) $x = 8$, $y = 4$	

4	(1) $y = \frac{3}{2}x - 2$		C(-2 , 1)
	(2) P(0 , 2)	(3)	$16\pi \text{ cm}^3$

5	(ア) $60^\circ + a^\circ$		各5点 [15点]
	(1) (イ)	<p>(証明) $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において 仮定より $BD = CE$ ……① $\triangle ABC$ が正三角形だから $\angle ABC = 60^\circ$, $AB = AC$ ……② $\angle ABD =$ (ア)の答え ……③</p> <p>\widehat{AC} に対する円周角は等しいから $\angle ADC = \angle ABC$ $\angle ACE$ は $\triangle ACD$ の頂点 C における外角なので $\angle ACE = \angle ADC + \angle DAC = 60^\circ + a^\circ$ ……④ ③と④より $\angle ABD = \angle ACE$ ……⑤ ①, ②, ⑤より</p> <p>(合同条件) 2組の辺とその間の角 がそれぞれ等しい から $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ (証明終わり)</p>	

(2)	$\frac{64}{49}S$		各5点 [15点]
(3)	AF : FD = 49 : 15		

受験番号	
------	--

--	--

数 学

1 次の にあてはまる数，式を答えなさい。

(1) $3 \times (2^2 - 7)$ を計算すると である。

(2) $\frac{25}{\sqrt{5}} - \sqrt{45}$ を計算すると である。

(3) 等式 $3a - \frac{b}{2} = 2c$ を a について解くと $a =$ である。

(4) $(x+3)^2 - 4x - 17$ を因数分解すると である。

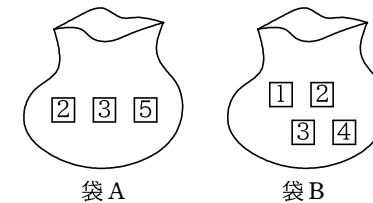
(5) $2x^2 - 5x + 1 = 0$ を解くと $x =$ である。

(6) 正九角形の1つの内角の大きさは °である。

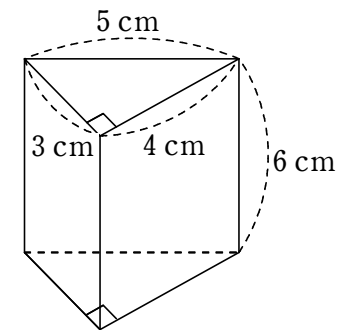
(7) y は x に反比例し， $x = -\frac{1}{2}$ のとき $y = 6$ である。 $x = \frac{3}{2}$ のとき $y =$ である。

(8) 図のように，袋 A の中には2と3と5の数字を1つずつ書いた3枚のカード，袋 B の中には1から4までの数字を1つずつ書いた4枚のカードが入っている。袋 A の中から1枚のカードを取り出したときの数字を a ，袋 B の中から1枚のカードを取り出したときの数字を b とする。

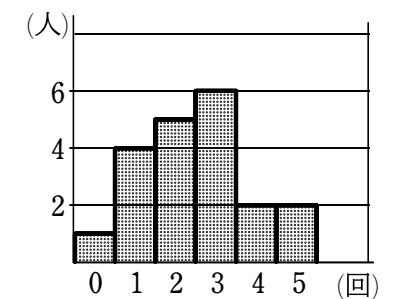
このとき， a が b より大きくなる場合は 通りである。



(9) 右の三角柱の表面積は cm^2 である。



(10) 右の図は，S高校の生徒20人について，ある5日間に校内の食堂を利用した回数を調べてヒストグラムに表したものである。このとき，5日間で1人あたりが利用した回数の平均値は 回である。



2 けたの正の整数がある。この整数は、十の位の数と一の位の数との和の3倍に等しい。また、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数は、もとの整数よりも45大きい。もとの整数の十の位を x 、一の位を y とするとき、次の問いに答えなさい。

(1) 下線部分について、もとの整数を x と y を用いて表しなさい。

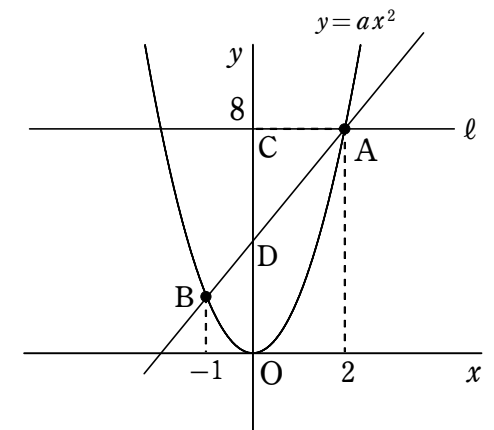
(2) x 、 y の連立方程式を完成しなさい。

{	(1)の答え = <input style="width: 80px; height: 20px;" type="text"/>
	<input style="width: 140px; height: 25px;" type="text"/>

(3) もとの整数を求めなさい。

3 図のように、関数 $y=ax^2$ ($a>0$) のグラフ上に2点 A、B があり、点 A の座標は $(2, 8)$ 、点 B の x 座標は -1 である。また、 x 軸と平行で点 A を通る直線 ℓ と y 軸との交点を C、直線 AB と y 軸との交点を D とする。次の問いに答えなさい。

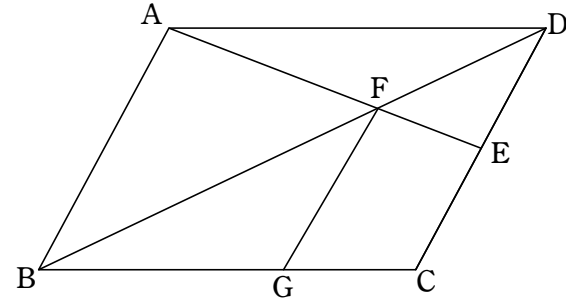
(1) a の値を求めなさい。



(2) 直線 AB の式を求めなさい。

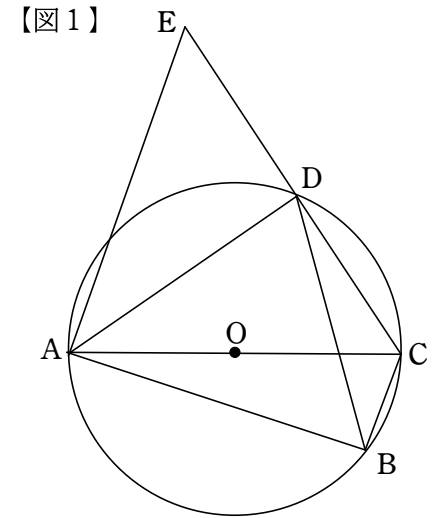
(3) 直線 OB と直線 ℓ との交点を E とする。このとき、四角形 EBDC の面積を求めなさい。ただし、1 目盛りを 1 cm とする。

4 図のように、平行四辺形 ABCD がある。辺 DC 上に点 E をとり、線分 AE と対角線 BD との交点を F、点 F を通り辺 DC に平行な直線と辺 BC との交点を G とする。AB=6 cm, DE=3 cm のとき、次の問いに答えなさい。



- (1) BF : FD を最も簡単な整数の比で答えなさい。
- (2) 線分 FG の長さを求めなさい。
- (3) $\triangle AFD$ の面積を S とするとき、四角形 FGCE の面積を S で表しなさい。

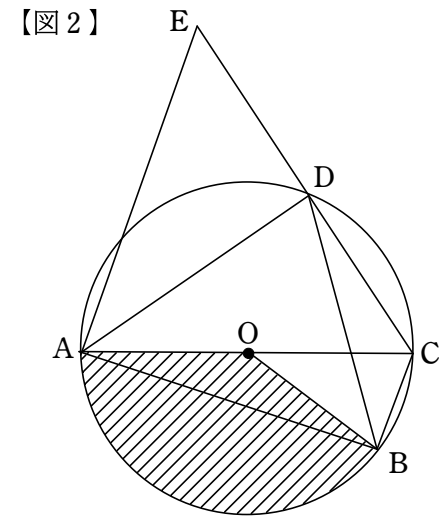
5 【図1】のように、円 O の周上に4点 A, B, C, D があり、線分 AC は円 O の直径である。点 A を通り BC と平行な直線と CD の延長との交点を E とする。次の問いに答えなさい。



(1) $\triangle ACE \sim \triangle DBA$ を証明しなさい。

(2) $AE=AC$, $\angle AED=54^\circ$ のとき、 $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。

(3) 【図2】は【図1】において、おうぎ形 OAB に斜線を引いた図である。
 (2)において、 $AE=8$ cm のとき、斜線部分の面積を求めなさい。



1	(1)		(2)	
	(3)	$a =$	(4)	
	(5)	$x =$	(6)	°
	(7)	$y =$	(8)	通り
	(9)	cm^2	(10)	回

2	(1)		
	(2)	{ (1) の答え =	
	(3)		

3	(1)	$a =$	(2)	$y =$
	(3)	cm^2		

4	(1)	$BF:FD =$:	(2)	cm
	(3)				

5	(1)	<p>(証明) $\triangle ACE$ と $\triangle DBA$ において</p> <p>\widehat{AD} に対する円周角は等しいから、</p> <p>$\angle ACE = \angle$ <input type="text"/> ①</p> <p>$AE \parallel BC$ より、平行線の錯角は等しいから、</p> <p>$\angle EAC = \angle$ <input type="text"/></p> <p>\widehat{AB} に対する円周角は等しいから、</p> <p>\angle <input type="text"/> $= \angle ADB$</p> <p>よって $\angle EAC = \angle ADB$ ②</p> <p>①, ② より、</p> <p>(相似条件) <input type="text"/> がそれぞれ等しいから</p> <p>$\triangle ACE \sim \triangle DBA$ (証明終わり)</p>			
	(2)	$\angle ADB =$	°	(3)	cm^2

受験番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>
------	----------------------	----------------------

1	(1)	-9	(2)	$2\sqrt{5}$
	(3)	$a = \frac{b+4c}{6}$	(4)	$(x+4)(x-2)$
	(5)	$x = \frac{5 \pm \sqrt{17}}{4}$	(6)	140°
	(7)	$y = -2$	(8)	7 通り
	(9)	84 cm^2	(10)	2.5 回

40点[各4点]

2	(1)	$10x + y$	<input type="text"/>
	(2)	$\left\{ \begin{array}{l} \text{(1)の答え} = 3(x+y) \\ 10y + x = 10x + y + 45 \end{array} \right.$	<input type="text"/>
	(3)	27	<input type="text"/>

15点[各5点]

3	(1)	$a = 2$	(2)	$y = 2x + 4$
	(3)	14 cm^2	<input type="text"/>	<input type="text"/>

15点[各5点]

4	(1)	$BF:FD = 2:1$	(2)	4 cm
	(3)	$\frac{7}{6}S$	15点[各5点]	

5	(1)	<p>(証明) $\triangle ACE$ と $\triangle DBA$ において \widehat{AD} に対する円周角は等しいから、 $\angle ACE = \angle \boxed{DBA}$① $AE \parallel BC$ より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle EAC = \angle \boxed{ACB}$ \widehat{AB} に対する円周角は等しいから、 $\angle \boxed{ACB} = \angle ADB$ よって $\angle EAC = \angle ADB$② ①, ② より、 (相似条件) 2組の角 がそれぞれ等しいから $\triangle ACE \sim \triangle DBA$ (証明終わり)</p>		
	(2)	$\angle ADB = 72^\circ$	(3)	$\frac{32}{5}\pi \text{ cm}^2$

15点[各5点]

受験番号